

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

健康づくり推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島がん高精度放射線治療センター		
所在地	広島市東区二葉の里三丁目2番2号		
設置目的	がんの治療水準の向上を図るため、がん患者に対して放射線による治療を提供する。		
施設・設備	リニアック治療室、診察室、治療計画室、患者待合スペース等		
指定管理者	3期目	R6.4.1～R11.3.31	(一社) 広島県医師会
	2期目	H31.4.1～R6.3.31	(一社) 広島県医師会
	1期目	H27.10.1～H31.3.31	(一社) 広島県医師会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	新規患者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	3期	R6	709人	518人	△131人	△191人 (73.1%)
2期平均	H31～R5	677人	666人	—	△11人 (98.3%)	
1期平均	H27～H30	588人	521人	—	△67人 (88.6%)	
	(導入前)	—	—	—	—	
増減理由	令和6年度上半期においては基幹病院の一部で受診患者数自体が減少したことに加えて、複数の医療機関でリニアックが本格稼働したことにより、新規患者数が減少したと考えられる。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	センターの医療サービスに対する患者の満足度調査を実施	センターで治療を受けた患者を対象に10月に実施(有効回答数 77人)
	【主な意見】	【その対応状況】
	クレジット支払いができることをホームページに掲載した方が良い。 消毒液を入口付近に置いて欲しい。	ホームページに使用可能な支払い方法を掲載した。 消毒液の配置場所は、院内感染対策委員会により、感染対策を十分に検討した上で決定した。荷物を降ろして十分に手指消毒ができるよう、入口ではなく、荷物台と共に受付前に設置している旨を説明した。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	治療実績等報告
	日報 (必要随時)	○	患者紹介状況報告、診療報酬請求報告
運営協議会 (年2回開催)	【特記事項等】 ・4基幹病院、県、広島市、県医師会の7者で構成する運営協議会を通常年2回ペースで開催している。 【指定管理者の意見】 ・運営に当たっては、県等と相談・連携しながら、丁寧に取り組む。		
現地調査 (4月～5月に実施)	【県の対応】 ・センターは7者の連携共同事業として運営していることを踏まえ、指定管理者と十分に意思疎通を図りながら取り組む。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	3期	R6	7,482	0		3期	R6	447,948	△100,854
	2期平均 H31~R5		7,468	—		2期平均 H31~R5		546,230	—
	1期平均 H27~H30		192,676	—		1期平均 H27~H30		402,504	—
	(導入前)		—	—		(導入前)		—	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委託事業	収入				
	県委託料	7,482	7,482	0	
	料金収入	447,948	548,802	△100,854	患者数の減、利用料金制(※1)
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	455,430	556,284	△100,854	
	支出				
	給与費	247,165	250,107	△2,942	患者数減に伴う時間外勤務の減
	材料費	1,795	8,659	△6,864	患者数減に伴う薬品・診療材料都の使用量の減
	水道光熱費	27,873	26,362	1,511	ガス料金の高騰
	消耗品費等	6,558	5,824	734	患者数減に伴う消耗品の使用量減(△50万円)・ノバリス認定の更新手数料(+170万円)
管理委託費等	180,719	168,190	12,529	人件費や原材料価格の値上がり及び機器の経年劣化に伴う保守管理委託料の高騰	
研修研究費	3,768	4,036	△268	学会等への参加減	
修繕費	6,375	4,729	1,646	空調機や治療機器等の修繕件数の増	
その他	680	680	0		
計(B)	474,934	468,587	6,347		
収支①(A-B)		△19,504	87,697	△107,201	
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
	支出(D)	—	—	—	
	収支②(C-D)	—	—	—	
合計収支(①+②)		△19,504	87,697	△107,201	(うち県からの交付額 19,504千円)

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<p>4 基幹病院とその他のがん診療連携拠点病院と連携したネットワーク型がんセンターとして、各医療機関からの紹介患者に高精度放射線治療を行い、開設以来、着実に紹介元医療機関数が増加している。</p> <p>診療では医療事故は発生しておらず、紹介元の医療機関、治療を受けた患者からも高い評価と信頼を得ている。</p>	<p>安全で質の高い放射線治療を、適切な感染対策を行ったうえで提供しており、設置目的である県のがん医療水準の向上に貢献できている。</p> <p>開業から9年半、事故なく運営できしており、医療スタッフ等の対応についても評判は良く、高い信頼を得ている。</p>
	<p>平成29年度から開始した人材育成セミナーを会場とWebの併用開催とし、放射線治療に携わる人材の育成を積極的に行うとともに、平成28年度から開始した放射線治療技術の均てん化を目的とした技術支援を行っている。</p>	<p>人材育成においても、研修の開催や技術支援の内容を拡充させるなど、放射線治療の水準の向上に貢献している。</p>
	<p>センターのホームページについて、院内広報委員会においてアクセス解析を実施し、治療に関する説明や診療実績の更新等、内容の充実を図っている。</p> <p>さらなる連携強化を図るため、医療機関へのセンター長訪問の積極的な実施や、がん治療への理解を深めることを目的に県民セミナーを開催とし、センターの認知度向上に努めている。</p> <p>また、放射線治療のできない医療施設へセンターの医師を派遣し、専門外来を設置する「HIPRAC外来」を引き続き実施した。</p>	<p>新規紹介患者数は、前年度と比較すると、複数の医療機関のリニアック本格稼働の影響等により減少に転じているが、引き続き、ホームページ内容の充実、センター長の医療機関訪問、県民公開セミナーの開催、チラシ・ポスターの配布、「HIPRAC外来」等、センターの認知度を上げるための活動を積極的に行っている。</p>
	<p>定期的な医療安全管理委員会や感染対策委員会の実施、施設内外の巡回、日常の機器メンテナンス等を通じて汚損や故障等の把握に努め、安全性と清潔さの維持に努めている。</p>	<p>院内委員会の開催や施設の巡回を適切に行い、汚損等に迅速に対応しており、医療機関にふさわしい医療安全・感染対策が行われている。</p>

管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	高度な専門性を有する医療スタッフを確保し、安全かつ適切な医療を提供している。	専門性の高い医療スタッフを確保できている。
	○効率的な業務運営	委託費の縮減に向けた取組や、時間外勤務の縮減のための業務効率化、光熱水費等の費用の節減に努めた。	機器の保守、管理委託料、光熱水費、診療材料、消耗品等の経費の節減だけでなく、人件費等の固定経費の精査をした上、時間外勤務縮減のため業務効率化に努めている。
	○収支の適正	複数医療機関のリニアック本格稼働により、患者数・収入ともに目標を下回った。その中で、高精度率を高める等、当センターの高精度放射線治療の機能発揮に努めた。引き続き、上記の取組を継続的に実施していく必要がある。	
	総括	放射線治療を必要とするがん患者に対して、迅速かつ丁寧に、安全で質の高い治療を提供した。 今後も、紹介患者数の増加に向けた取組を継続するとともに、センター設置目的のもう一つの柱である「人材育成」や「技術支援」についても、更なる拡充を進める。 また、高精度放射線治療の件数の増加に向けた取組を行う。	患者に対し、質の高い放射線治療を安全に提供できており、施設の目的に沿った運営がされている。 令和6年度は紹介患者数及び収入が目標を共に達成できなかった。令和7年度も引き続き、4基幹病院以外の病院も含め、施設の認知度向上やセンターの優位性のPR等を行い、センターの設置目的に沿った、高精度放射線治療件数をより増やしていく必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	<p>センターの行う特徴的な治療等について積極的な広報や医療関係者への働きかけを進め、紹介患者数の増加を図る。</p> <p>引き続き、安全かつ質の高い医療の提供を行う。</p> <p>県内外医療機関の放射線治療の品質管理に対して、技術的な支援を行う。</p> <p>人材育成に資する取組を強化する。</p>	<p>引き続き、適切な目標治療患者数を設定した上で、指定管理者と協力し、4基幹病院だけでなく、それ以外の医療施設にもセンターで行う治療について積極的にPRし、更なる患者紹介・収入確保につなげる。</p> <p>患者増に伴う業務過多により、医療の質を低下させないよう業務管理を徹底する。</p>
中期的な対応	<p>着実に治療実績を集積し、適時の情報提供のための体制を強化し、他科からの患者紹介の増につなげる。</p> <p>高精度放射線治療を担う医療人材を育成する。</p> <p>収支均衡を図り、安定した事業運営を行う。</p>	<p>センターの優位性を客観的に示せるよう、治療実績を集積し検証する。</p> <p>不足している放射線治療に係る医療人材の育成を推進する。</p> <p>運営費の補填を行うことがないように引き続き運営コストの縮減を図る。</p>